

# 令和4年度東京都青年剣道大会要項

## 1. 主 催

一般財団法人東京都剣道連盟

## 2. 日 時

令和4年9月4日（日）午前9時開門・午前10時開会

## 3. 会 場

東京武道館 大武道場（足立区綾瀬3-20-1） ☎03-5697-2111

◇ 東京メトロ千代田線綾瀬駅東口下車徒歩5分

## 4. チーム編成

(1) 男子・・・監督1名、選手5名（先鋒、次鋒、中堅、副将、大将）計6名とする。

なお、男子大将は30代の者とする。

※年齢基準は全国青年大会前日とする（11月11日）

(2) 女子・・・監督1名、選手3名（先鋒、中堅、大将）計4名とする。

## 5. 試合方法

トーナメント方式によって行い、優勝・二位・三位（2チーム）を決定する。

## 6. 参加資格

(1) 東京都剣道連盟の会員であり、分担金を納めている区市町村より出場すること。

(2) 官公庁ブロック、学連、学生クラブ、高体連の登録会員は参加できない。

(3) 昭和62年4月2日以降平成16年4月1日までに出生した者。

(4) 令和4年4月30日以前から引き続き東京都に居住する者。

(5) 大学生の参加を2名以内で認めるが関東学生剣道連盟に加盟する者は参加できない。

(6) 医師の健康診断を受け、健康であることが証明された者。

(7) 過去において、次にかかげる大会に出場した者は参加できない。

①国際大会ならびに全日本選手権大会

②国民体育大会剣道競技（少年の部の出場は除く）

③全日本都道府県対抗優勝大会（高校生・大学生時の出場は除く）

④全国教職員大会

⑤全国警察官大会

**\*本大会は墨田区剣道連盟で代表選手を選考して出場します。**

## 7. 競技方法

(1) 試合および審判規則

①全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。

②試合は3本勝負、試合時間は男子4分、女子3分とする。勝敗の決まらない場合は、引き分けとする。

③勝者数が同じ場合は総本数による。総本数も同じ場合は代表者戦を行う。

代表者戦は先鋒から大将の中より各チームで任意に選出して行い1本勝負とし、試合時間は男子4分、女子3分とする。試合時間内に勝敗の決しない場合は延長戦を行う。なお、延長に入ってから試合時間は3分ずつ区切って行う。また、3回行っても勝敗が決しない場合は5分休憩をとる。それを繰り返し勝敗の決するまで行う。

④竹刀の計量は必ず受けること。(原則としてチームごとに行う)

竹刀の重さ、長さ、太さは次のとおりとする。

長 さ		重 さ	太 さ	
120センチメートル以下	男性	510グラム以上	先端部最小直径	26ミリメートル以上
			ちくとう最小直径	21ミリメートル以上
	女性	440グラム以上	先端部最小直径	25ミリメートル以上
			ちくとう最小直径	20ミリメートル以上

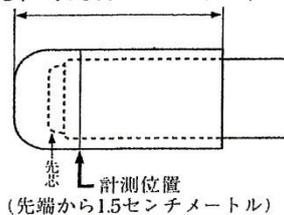
ただし、二刀の場合は、

大 刀	114センチメートル以下	男性	440グラム以上	先端部最小直径	25ミリメートル以上
				ちくとう最小直径	20ミリメートル以上
		女性	400グラム以上	先端部最小直径	24ミリメートル以上
				ちくとう最小直径	19ミリメートル以上
小 刀	62センチメートル以下	男性	280～300グラム	先端部最小直径	24ミリメートル以上
				ちくとう最小直径	19ミリメートル以上
		女性	250～280グラム	先端部最小直径	24ミリメートル以上
				ちくとう最小直径	19ミリメートル以上

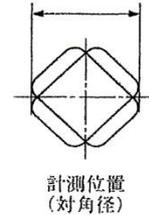
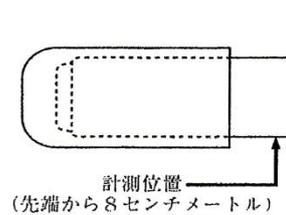
## 付 剣道試合・審判運営要領

### <竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ50ミリメートル以上



### <ちくとうの最小直径値の計測方法>



⑤申込後メンバーの順位変更は認めない。申込後に選手に事故が生じて出場不可能となった場合は9月2日(金)午後3時までに届け出たものだけに限り変更を認める。

(2) 無資格選手を発見した時は、チーム全員を失格とする。

(3) 前垂には必ず地区および姓を明記した布製の名札を着用すること。

[例]

千代田
山
田

## 8. 試合運営上の留意すべき事項

(1) サポーターなどの使用は、医療上必要と認める場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。

(2) 面紐の長さは結び目から約40cm以内とする。

## 9. 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（所属団体名、称号・段位、漢字氏名、年齢、住所、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する全国大会ならび本大会運営のために利用することがある。なお、所属団体名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に剣道の普及のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

- (1) 東剣連および報道機関等が撮影した写真が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。
- (2) 東剣連および報道機関等が撮影した映像が、中継・録画放映およびインターネットによる配信で公開されることがある。
- (3) 東剣連の許可を受けた者によって、撮影された写真および映像が販売されることがある。

## 10. その他

- (1) 試合時には面マスクおよびシールド（マウスガード）を必ず着用すること。
- (2) 主催者は、大会中の事故に対し（大会会場への往復途上を含む）、傷害保険に加入する。  
なお、大会実施中、傷害発生の場合は、医師または看護師により応急処置を講じ、病院等で治療を受けられるように手配する。この場合の治療費は本人が負担する。
- (3) 盗難が多発しているため、貴重品は、なるべく持ち込まないこと。持ち込む場合は、各自十分注意の上自己管理すること。
- (4) 本大会において、男・女優勝チームを全国青年大会の東京都代表とする。
- (5) 靴入れのビニール袋をご持参下さい。

※本大会は、大会運営関係者および監督・選手のみとし、見学者は入場できません。

※選手は係員の指示に従い入場してください。試合終了後は速やかに施設から退場して下さい。

※本大会では、入場時体温測定を実施し、発熱のある方（個人差はあるが、一般的には37.5度以上ある者）は入場できません。また、入場時「選手・関係者確認票」を提出して下さい。原則持参しなかった者は入場できません。